



左：水筒を持参した利用客を誘導する柳沢さん。上：食器を拭くための古布を用意する長澤さん。下：食器のリユースを呼びかける原科さん。



他団体が出店している飲食ブースで使った食器を回収していた。

江戸川大学生もボランティアに参加。

食器リユースで、ごみ削減。

ごみを拾うから、ごみを出さないへ。

7月1日から2日まで、自然と人との共存のより良い在り方を創造するオーガニック&エコロジーイベント「earth garden “夏”」(アースガーデン主催)が、代々木公園イベント広場の野外音楽堂前で行われた。このイベントに、ごみゼロナ

ビゲーションというボランティア活動を行っている「NPO 法人 iPledge」が、食器のリユースブースを出した。同 NPO 事務局長の濱中聡史さんとボランティア活動に参加した本学学生に活動の意義を聞いた。(撮影：石井 蓮 取材：佐藤 耀)



NPO 法人 iPledge 事務局長の濱中聡史さん。

7月1日から2日まで、自然と人との共存のより良い在り方を創造するオーガニック&エコロジーイベント「earth garden “夏”」(アースガーデン主催)が、代々木公園イベント広場の野外音楽堂前で行われた。このイベントに、ごみゼロナ

ビゲーションというボランティア活動を行っている「NPO 法人 iPledge」が、食器のリユースブースを出した。同 NPO 事務局長の濱中聡史さんとボランティア活動に参加した本学学生に活動の意義を聞いた。(撮影：石井 蓮 取材：佐藤 耀)

ごみを出さない活動として評価を得ている。そもそもなぜこのような活動を始めたのか濱中さんに聞いた。同 NPO 代表の羽仁カンタさんが音楽フェスに参加したとき、捨てら

ごみを出さない活動として評価を得ている。そもそもなぜこのような活動を始めたのか濱中さんに聞いた。同 NPO 代表の羽仁カンタさんが音楽フェスに参加したとき、捨てら



上：使用した食器に霧吹きで水をかける。
下：古布を使って食器の汚れを拭き取る。
食器を使った人が、自分できれいにする。

原科さんは、ごみを拾うの

ボランティアたちは、朝の9時に集合し4つのグループに分かれ、コース